

かわかぜ

令和6年(2024年)9月号
江戸川区立中小岩小学校
きこえとことばの教室
TEL 3658-0451

🌻 2学期がスタートしました 🌻

暑い夏休みでしたが、皆さんどのように過ごしましたか?皆さんがきこえとことばの教室に通級した時に、各担当の先生と夏休みの思い出について話すことができたかなと思います。

2学期は学芸会、音楽会、展覧会、運動会などたくさんの行事があります。きこえとことばの教室では、12月に学習発表会を行います。それぞれの場所で日頃の練習や学習の成果を発揮してほしいなと思います。

日中はまだ残暑が厳しいですが、朝夕は少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期になりますが、健康に気をつけて通級してください。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



<9月の行事予定>

- 2日(月) 中小岩小学校 始業式
- 3日(火) 都難言協 江東ブロック研究会(午後)
- 4日(水) 2学期 通級開始
専門家診断 ※午前の指導はお休みです。
- 9日(月) 教育相談 10:45~
- 10日(火) 都専門研究会(午後)
- 16日(月) 敬老の日
- 18日(水) きこえグループ 14:00~
吃音グループ 15:15~
- 22日(日) 秋分の日
- 23日(月) 振替休日
- 30日(月) 教育相談 10:45~



<10月の行事予定>

- 1日(火) 都民の日 ※指導はお休みです。
- 3日(木) 専門家診断※午前の指導はお休みです。
- 5日(土) 教育相談 10:45~
- 8日(火) 都難言協 江東ブロック研究会(午後)
- 14日(月) スポーツの日
- 15日(火) 都専門研究会(午後)
- 16日(水) きこえグループ 14:00~
吃音グループ 15:15~
- 21日(月) 教育相談 10:45~
- 28日(月) 教育相談 10:45~
- 30日(水) 交流会
※午後の指導はお休みです。

きこえとことばの教室 説明会

今年度も7月22日(月)にきこえとことばの教室説明会を実施しました。夏休み初日でしたが、多くの先生方にご参加頂きました。お忙しい中ご参加頂きありがとうございました。当日は、きこえとことばの教室の指導について、入級システムについて、難聴・吃音・構音・言語発達の遅れの概要について説明をしました。とても熱心に聞いて頂き、担当者一同嬉しく思っております。



<アンケートより>

- 各障害種の説明がわかりやすかったです。実際の映像を交えながら説明をされていたので、指導の様子や障害の状態についてよく知ることができました。
- 指導の中で実際に使用している教材を見させていただきとても勉強になりました。きこえとことばの教室で学ぶイメージを湧かせることができました。

吃音講演会(保護者会)

7月23日(火)に吃音講演会を行いました。講師は、ご自身が吃音で小学校の時にことばの教室に通われていた板橋区立志村第六小学校の大野恵古先生をお招きして当事者目線からこれまで経験してきたことについてお話をいただきました。当日出た質問と回答の一部と小学校卒業後の接し方のヒントを紹介します。

Q.本人に吃音は治らないと伝えたほうがいいか。

A.吃音を治したいという気持ちがあるのであれば少しは残るかもしれないということは伝えてもいいかもしれない。会話の中で吃音のことを伝えたり、吃音が軽減する方法を伝えたりしてもいいかもしれない。

Q.中学校、高校に進学した際に吃音でいじめられないか心配。

A.ことばの教室に通っているのであれば心配はない。いじめる子と付き合う必要はない。ちょっとかきを出してくるのであればその子に興味があるからだと思う。吃音のことを伝えた後にからかいがあるのであれば友達をやめるのも1つの手段。

Q.コンビニのアルバイトをしたいということだが吃音の症状が心配。

A.吃音があっても受け入れてもらえるようなアルバイト先を見つけるのがいいかもしれない。

Q.就職の面接で困ったことはどのようなことか。

A.学校の先生になる際の面接で「その話し方で大丈夫なのか。」と言われたことがある。「言葉が吃ることがあってつらいこともあるが、それと子どもを好きになる気持ちは比例しない。」と伝えた。

面接はすごく吃る。吃ることを前提に面接の練習をした方がいいと思う。面接の最初に吃音があることを伝えるといいと思う。自分の苦手さを伝えられるのはいいこと。

～小学校卒業後の対応について～

- ・子供は吃音のことを卒業後に話を聞いてくれる場所がなくなる、親しか話す相手がなくなる。ことばの教室に来てもいいよとは言われるがなかなか行きにくい。
- ・フランクな形で話しかける、「吃音が出たか」ではなく「今日どうだった」など共感してあげることが大事です。そうすると悩みなどを言ってくれるようになる。困った時には保護者がことばの教室に相談するのもいいと思う。
- ・保護者同士相談できる場があると情報交換ができ、また日頃の愚痴を言える。保護者自身が悩まないために助けを求められるような環境を作っておくことも大事です。

